

1 策定経過

平成8年度（現況把握期間）、平成9年度（素案作成期間）2年間に渡る策定経過は以下の通りである。（関係各課、ワーキンググループは次項に示す）

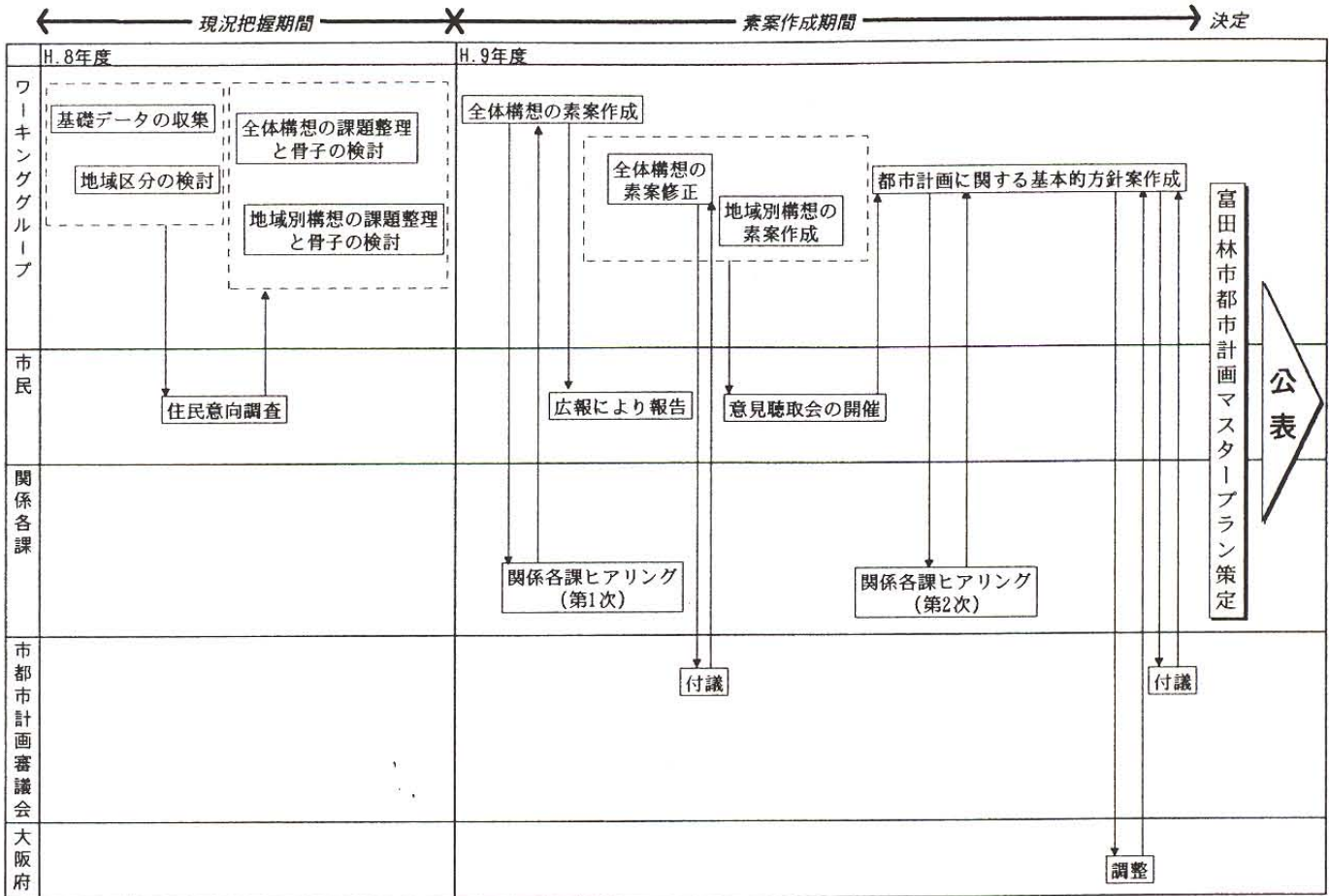


図4章 -1 策定経過

■関係各課・ワーキンググループ

・関係各課

建設部：	道路公園課	保健福祉部：	高齢福祉課
	建築課		障害福祉課
	再開発課	教育総務部：	教育総務課
下水道部：	工務課		文化財保護課
産業部：	農林課	社会教育部：	社会教育課
	商工観光課		スポーツ振興課
	水政課	市長公室：	自治推進課
総務部：	総務課	消防署：	消防総務課
	企画課	農業委員会：	農業委員会事務局
市民生活部：	環境衛生課		

・事務局

建設部都市計画課

・ワーキンググループ

建設部都市計画課

(株)環境整備センター

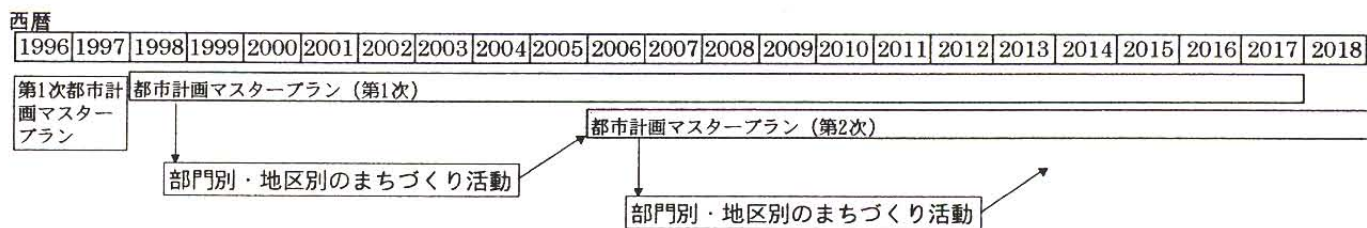


図 4章 -2 今後の更新

2 住民意向調査概要

(1) 調査目的

都市計画に関する基本的な方針の検討にあたって、まちづくりに対する富田林市民の考えを十分反映させる検討資料を作成するために、富田林のまちづくりの現況や将来についての市民意向調査を平成8年度に行った。

(2) 調査概要

表 4章 -1 調査概要

○調査方法

対象者	対象地域	抽出方法	調査期間
富田林市に住む 16歳以上の男女	富田林市内	町別性別年齢別に 階層別無作為抽出	平成8年11月19日 ～12月18日

○回収結果

配布票数	回収票数	有効回収票数
2,000	1,055 (回収率 52.8%)	1,051 (有効回収率 52.6%)

○調査票の構成

属性	内容	内容
1. 町丁または大字名	1. 美しい、愛着を感じる建物・景色	11. 地域周辺の交通関連重要施策
2. 性別	2. 景観関連で必要な取り組み	12. 地域周辺の防災関連重要施策
3. 年齢	3. 景観関連重要施策（グループ1）	13. 市全体に必要な施設・サービス
4. 通勤・通学先	4. 景観関連重要施策（グループ2）	14. 地域周辺に必要な施設・サービス
5. 職業	5. 市街化区域内農地のあり方	15. 地域の将来像
	6. 市街化調整区域のあり方	16. 地域に必要なまちづくりの進め方
	7. 市街化調整区域の開発のあり方	17. 参加したいまちづくり活動
	8. 住宅・住環境5段階評価	18. 地域での建築・協定地区計画の必要度
	9. よく利用する鉄道駅	19. 建築協定・地区計画制度への協力度
	10. よく利用する駅までの交通手段	

(3) アンケートの集計結果

上記アンケート項目毎に集計を行い、地域固有の傾向が見られた意見や、まちづくりにおいて重要であろうと思われる項目の集計結果を以下にあげる。（A.市域全体の傾向、B.地域別の傾向）

■景観について

○美しい・愛着を感じる建物・景色

A. 「**金剛山系の山なみ**」と「**錦織公園**」は突出しており、つづいて「**金剛大橋**や**石川沿いの水辺の風景**」や「**富田林寺内町のまちなみ**」の人气が高く、自然的・伝統的景観の印象が強い。

B. 西南部の「**錦織公園**」、東南部の「**金剛山系の山なみ**」の人气は突出して高い。

○景観関連で必要な取り組み

A. 「**積極的に取り組むべきで協力したい**」と「**必要なことだと思う**」をあわせると、71.0%が景観の取り組みが望ましいとしている。

B. 「**積極的に取り組むべきで協力したい**」と「**必要なことだと思う**」をあわせた数字を地域別に比較すると、金剛東(75.5%)、金剛(73.5%)、北部(72.5%)、中部(72.2%)、東南部(71.4%)、中南部(69.5%)、東部(65.6%)、西南部(61.8%)の順でいずれも、関心の高いことがうかがえる。

○景観関連重要施策(ハード面の施策)

A. すべての選択肢に均等に解答が寄せられ、多様な取り組みが求められている。

B. 市域の西部(金剛・金剛東・西南部)で「**緑のネットワークづくり**」の意向が強い。中部・東部の富田林駅勢圏で「**駅前などの整備**」、東南部では「**デザインに配慮した施設整備**」、景観面だけでなく施設整備の充実が求められている。

○景観関連重要施策(ソフト面の施策)

A. 「**地域住民が合意したルールによる、まちなみの整備や保全**」が多く、ついで「**美化運動**」、「**景観条例**」、「**まちづくり市民団体の育成**」と続く。

B. 東南部は「**美化運動**」が多く「**景観条例**」の少ないのが目立ち、即効性の高い活動を求めている。

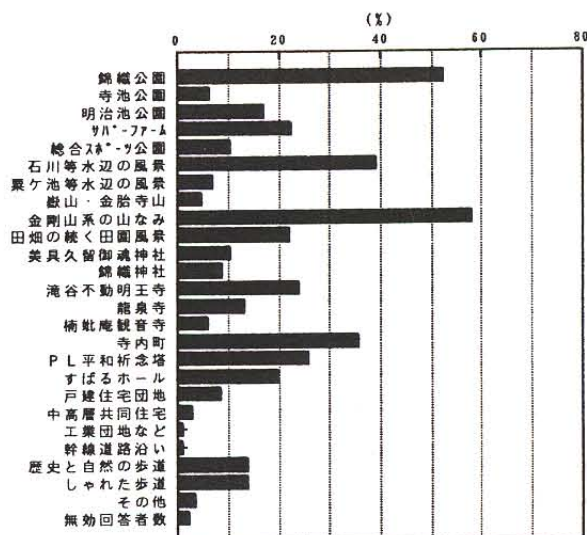


図 4 章 -3 美しい・愛着を感じる建物・景観(5つまで選択)

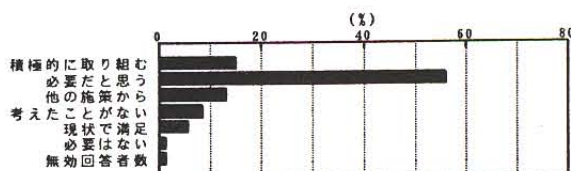


図 4 章 -4 景観関連での取り組みの必要性

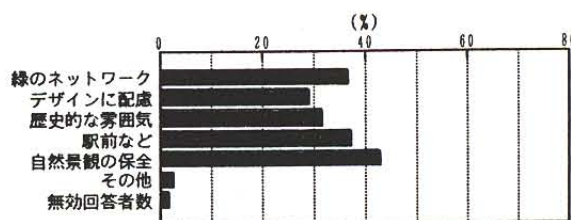


図 4 章 -5 景観関連重要施策(ハード面の施策)(2つまで選択)

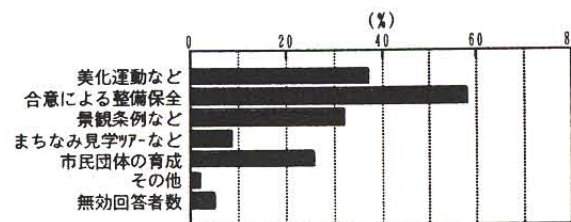


図 4 章 -6 景観関連重要施策(ソフト面の施策)

■住宅・住環境の現況について（5段階評価）

○住宅・住環境の現況について（「満足：5」「やや満足：4」「どちらでもない：3」「やや不満：2」「不満：1」住宅・住環境に関する満足度を各項目ごとに点数で指数化）

A.30項目のほとんどが2.5～3.5の間にある。「総合的な住みごち」の満足度が最も高く、「自然環境」「利便性」「施設の設置状況」はおおむね満足されている。逆に「防災訓練等の予備活動」「緊急時の連絡体制」「助け合い体制」などのソフト面の防災環境や、「生活道路」「駐車場」の整備水準や「火災延焼に対する安全性」などのきめ細かな都市基盤整備、「スポーツ施設」や「親水空間」の整備などで不満がみられる。

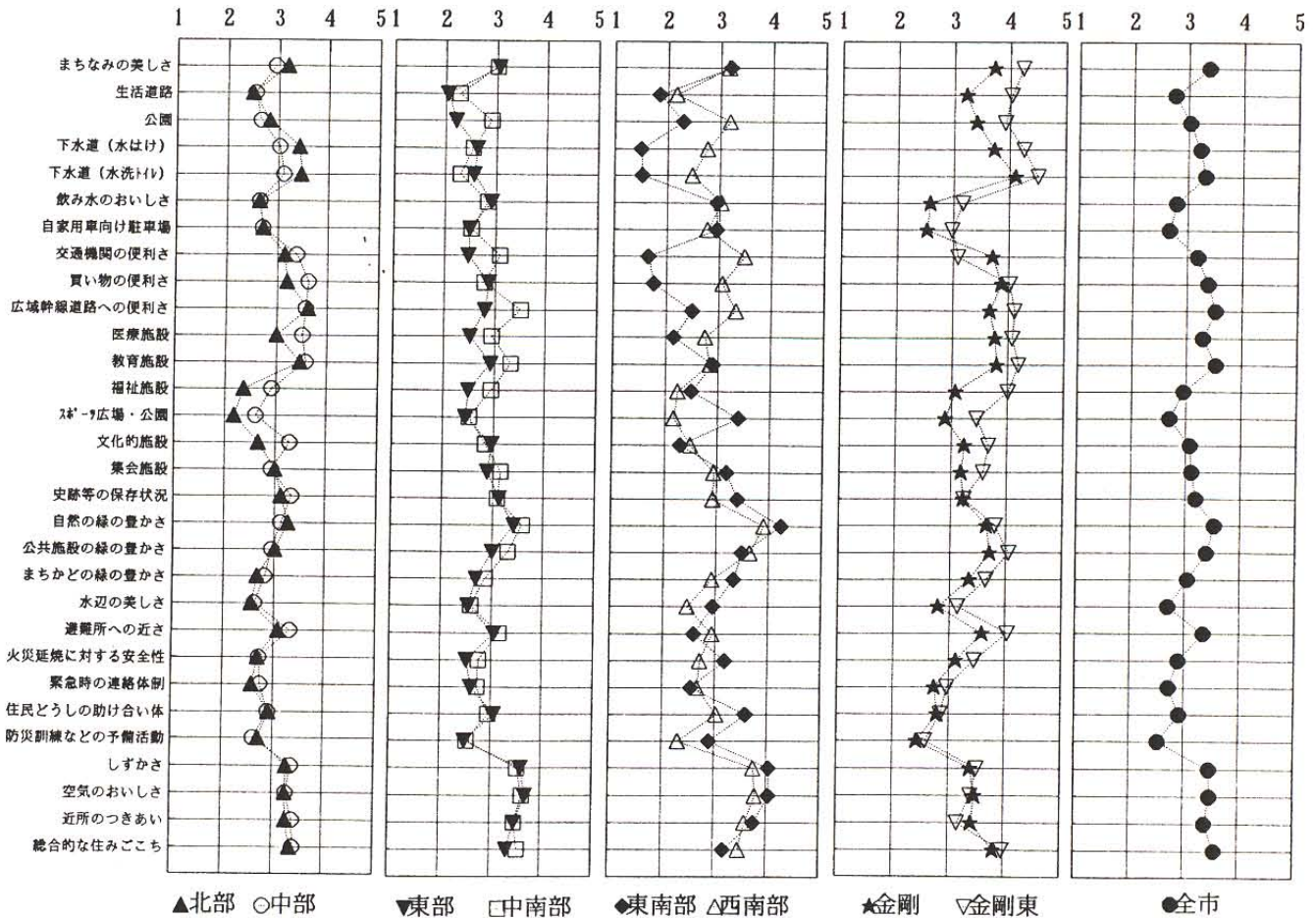


図 4 章 -7 住宅・住環境の現況について

■市街化区域内農地・市街化調整区域のあり方について

○市街化区域内農地のあり方

A. 「周辺と調和するように計画的に整備」が多い。

B. 金剛東と東部で「今のまま」や「市民農園」として農地を保全する意向がやや多い。

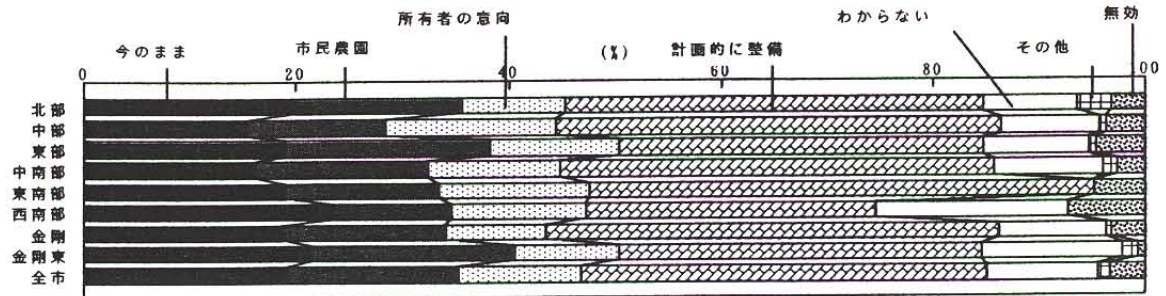


図 4 章 -8 市街化区域内農地のあり方について

○市街化調整区域のあり方

A. 「慎重に検討しながら整備開発」が第1位、「積極的な整備開発」とあわせた『整備開発派』は44.8%、第2位の「現状維持」と第3位の「積極的保全」をあわせた『保全派』は45.9%で、拮抗している。

B. 東南部は「積極的なと慎重に」をあわせた比率が61.9%を占めている。

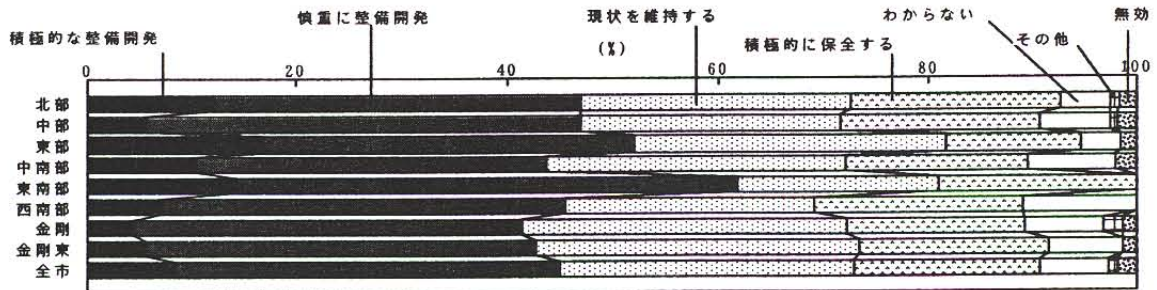


図 4 章 -9 市街化調整区域のあり方について

○市街化調整区域の開発のあり方

- A. 「自然を生かしたレクリエーション施設」について「健康増進施設や福祉サービス施設」、「農道などが整備された良好な農地」と、自然の保全・活用と市民サービス施設への関心が高い。
- B. 東南部は「レクリエーション施設」につづき「良好な農地」、保全型の整備が望まれている。東部は「住宅団地」や「産業用地」といった市街地の拡張整備がやや高くでているが、おおむね全市平均に似ている。金剛東・西南部は「レクリエーション施設」が他地域よりもやや高くでている。

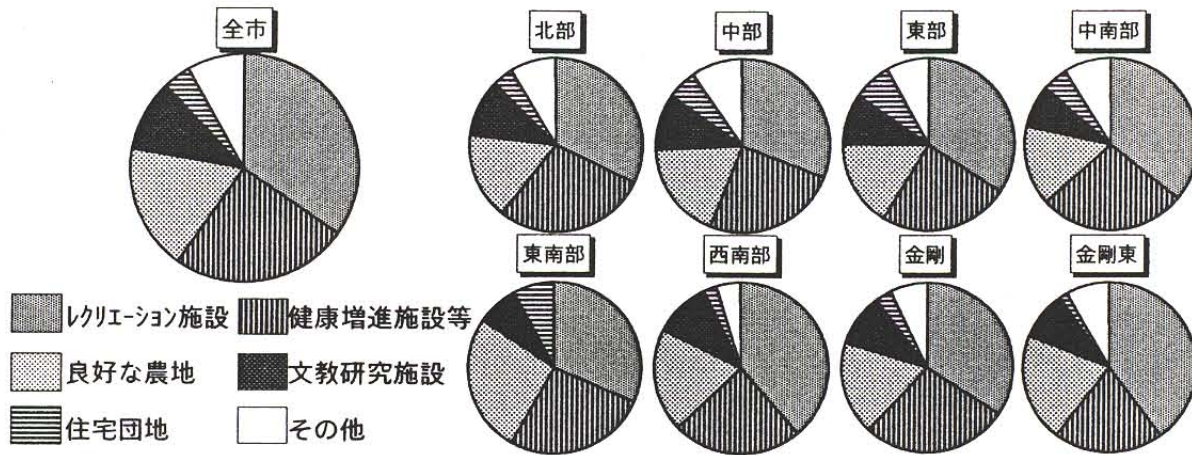


図 4 章 -10 市街化調整区域の開発のあり方について

■地域の将来と、まちづくりについて

○地域の将来像

- A. 「防犯面で安全かつ健全なまち」が突出。ついで「閑静で落ち着いた雰囲気なまち」「交通の便がよく道路の整ったまち」「並木道等の美しいみどり豊かなまち」などの良質な住宅地としての環境保全や利便性が求められている。
- B. 東南部と東部で「道路の整ったまち」が高い。東南部は第2位が「森や水辺を守り育てるまち」と、道路整備・自然環境保全が優先されている。金剛東は「並木道等の美しい」がやや高く出ており、金剛りぼんどおりなどの並木道の保全と展開が望まれているようである。

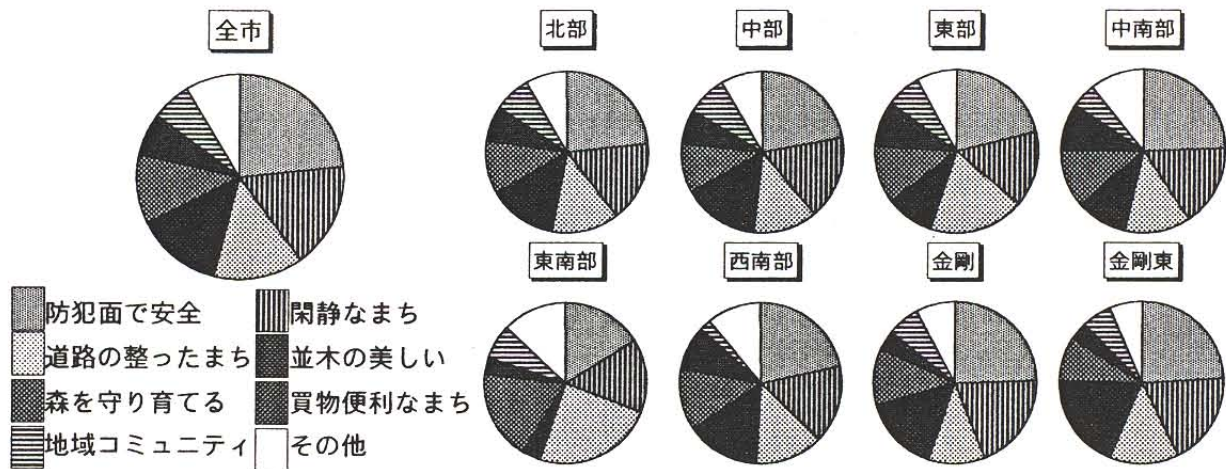


図 4 章 -11 地域の将来像について

○地域に必要なまちづくりの進め方

- A. 「良好な住環境の保全」が第1位で、地域の将来像とよく相関している。
- B. 東南部は「自然環境の保全」が他の地域の約2倍にもものぼり、「公共下水道整備」も突出している。北部・金剛東・金剛で「良好な住環境の保全」、西南部で「地域のサービス拠点」等が多い。

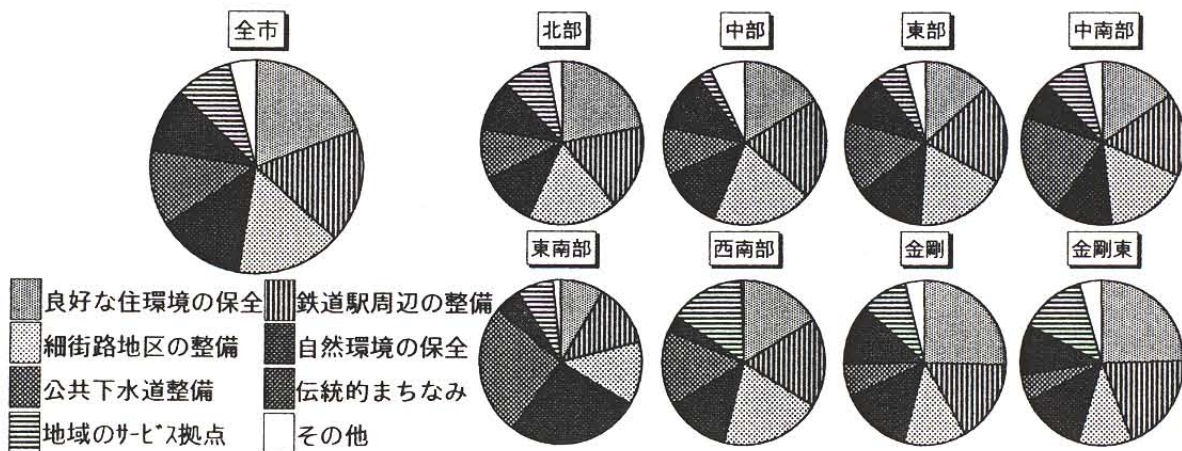


図 4 章 -12 地域に必要なまちづくりの進め方について

○参加したいまちづくり活動

- A. 「水辺や公園の清掃等の美化運動」「家の庭先などでの緑化推進」の2つが突出し、次に「住民主体のまちづくり組織づくり」、まちづくりに対する積極性が感じられる。
- B. 東南部と西南部は「緑化推進」の比率がやや高く、「まちづくり組織づくり」は北部・中部で高く、東南部はやや低い。

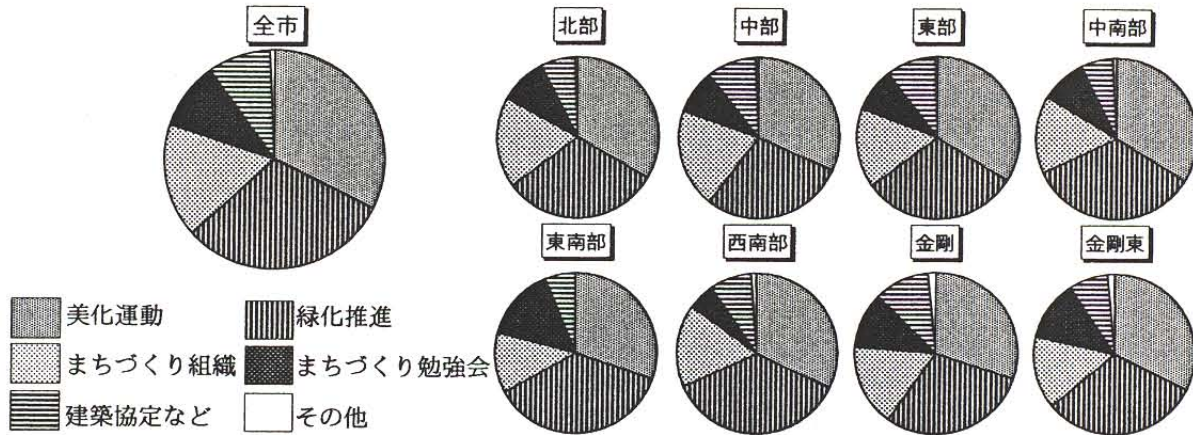


図 4章 -13 参加したいまちづくり活動について

■建築協定・地区計画について

○地域での建築協定・地区計画の必要度

- A. 「必要だとどちらかという必要だ」をあわせた『必要派』が6割近くを占め、「どちらかといえば必要ない」と「必要ない」をあわせた『不必要派』を大きく上回った。
- B. 各地域とも、おおむね『必要派』が『不必要派』を上回っているが、東南部は「必要ない」が多く、西南部は「わからない」人が多い。

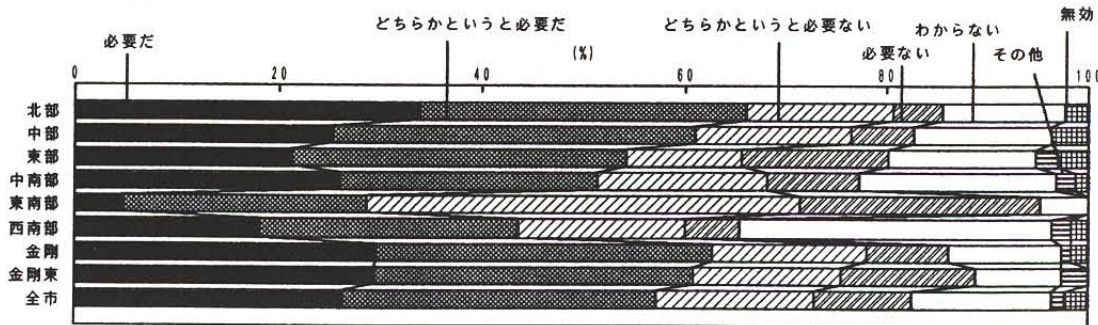


図 4章 -14 建築協定・地区計画について

3 意見聴取会概要

(1) 目的

意見聴取会開催の目的は以下の2点である。

①構想への市民意見の反映

本方針の策定手順として、策定経過のところで述べたように、ワーキンググループ（都市計画課、コンサルタント）や関係各課との調整では、全体構想を作成し、それを受けて地域別構想を検討するという手順を取った。土地利用や、交通施設、景観等に関わる方針は、市全域あるいは、市境界を超えて検討する必要があるからである。しかし、特に地域別構想においては、それだけでは十分に扱うことのできない固有の課題があり、できるだけ地域レベルの視点に立って取り上げてきた。ただ、さらに詳細な街区レベルからの視点や、日常生活の積み重ねのなかからでしか、認識できない課題があるのも事実である。本方針を単なる計画ではなく、実現性のあるひとつひとつのまちづくりに結びつけていくためには、そういった生活者からの意見を構想に反映させることが不可欠である。

②今後のまちづくりへのきっかけづくり

長年育まれてきた生業を生かして、まちづくりを行っていくためには、権利者や関係者の協力は欠くことができない。これまで市民がまちづくりに参加する機会が少なかった本市では、まちづくりに関心の低かった人や、関心があっても参加する機会が無かった人がほとんどだと考えられる。意見聴取会を、まちづくりが身近なものであり、ひとりひとりの人に関わりの深いものだということを理解してもらう場として位置づけた。

(2) 意見聴取会の概要および参加状況

地域別の意見聴取会は、10月13日から23日までの間、各地区の小学校等、その地区に親しみの深い場所で行った。各地区とも午後7時から2時間ほどの間、市側からの素案提示及びそれに対する意見聴取を行った。

参加人数は、10数人から40数人程度であり、全8地域で209人となった。

(3) 意見の分類

意見の件数を延べ人数として、まとめると、次項にあるように、

道路関連や住宅・住環境関連が多数を占めた。また、方針に対する多数の意見が得られただけでなく、マスタープランのあり方そのものに対する意見も挙げられ、これからのまちづくりに向けて、市民がより主体的に取り組む姿勢が感じられた。

表 4 章 -2 意見聴取会開催日程

地区名	開催日	場 所	参加人数
北 部	10月13日	喜 志 小 学 校	23人
東 部	10月15日	大 伴 小 学 校	36人
中南部	10月16日	錦 織 小 学 校	42人
東南部	10月17日	東 条 小 学 校	18人
西南部	10月20日	須賀老人憩いの家	11人
金 剛	10月21日	金 剛 中 学 校	40人
金剛東	10月22日	藤 陽 中 学 校	20人
中 部	10月23日	市役所401会議室	19人
合 計			209人

表 4 章 -3 住民意見の分類

	北 部	中 部	東 部	中南部	東南部	西南部	金 剛	金剛東	8 地区	文書提案	全 市
○道路	11件	3件	4件	4件	5件	8件	8件		43件	6件	49件
幹線道路の整備	9	2	1	2	2	3	1		20		20
生活道路の整備				1	3	5	3		12		12
歩行者主体の道路整備	2	1	2	1			2		8	5	13
路上駐車・放置自転車対策			1				2		3	1	4
○公共交通サービスの向上			2件	3件	1件	2件	2件	4件	14件		14件
レインボーバス			1	1		1	1		4		4
民間バス			1		1	1	1	4	8		8
鉄道				2					2		2
○住宅・住環境	6件	1件	5件		4件	2件	13件	6件	37件	4件	41件
下水道整備	1		2		1	1			5	2	7
住環境の保全	5				3		7	4	19	2	21
地域コミュニティ		1						2	3		3
街灯の設置等防犯対策			3			1			4		4
マンション問題	6	1	5				6		18		18
○市街地整備	4件	2件	1件			2件	1件		10件	2件	12件
駅南再開発及び駅広整備	2	2					1		5	1	6
都市景観の形成・保全			1			1			2	1	3
地域間の整備バランス	2					1			3		3
○官庁・商業施設等の利便施設		1件				1件	1件		3件		3件
○教育・文化・福祉等の施設の整備及びソフト面の支援	1件	2件	4件			3件	3件	4件	17件	1件	18件
○緑関連		8件	8件		1件	3件	2件	1件	23件	6件	29件
公園の整備及び管理		2	3			2	1		8	4	12
緑地・自然環境の保全		5	2			1	1	1	10	1	11
農地の保全		1	3		1				5	1	6
○土地利用	3件			3件		1件			7件	3件	10件
線引き	3			1					4		4
土地利用構想				2		1			3	3	6
○防災関連			1件	3件		3件	3件		10件		10件
○マスタープランのあり方	1件		3件	2件		2件	2件	2件	12件	1件	13件
○富田林の将来像		2件							2件		2件
○まちづくりへの提案		6件					4件	4件	14件	3件	17件
○市への提言	1件		2件		2件	1件	4件		10件	1件	11件
計	27件	25件	30件	15件	13件	28件	43件	21件	202件	27件	229件